

「ドイツ語第Ⅳ」講座番号一覧表

ドイツ語第Ⅳ (ドイツ語第Ⅲは107ページ以下に掲載)

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
201	ドイツ語第Ⅳ	大谷 美奈	水 4
202	ドイツ語第Ⅳ	岡本 和子	月 4
203	ドイツ語第Ⅳ	川口 眞理	月 5
204	ドイツ語第Ⅳ	木村 裕一	金 1
205	ドイツ語第Ⅳ	許 光俊	木 4
206	ドイツ語第Ⅳ	シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ	金 2
207	ドイツ語第Ⅳ	シュミット, ウーテ	金 5
208	ドイツ語第Ⅳ	滝藤 早苗	火 5
209	ドイツ語第Ⅳ	馬場 浩平	火 4
210	ドイツ語第Ⅳ	吉田 真	火 3

ドイツ語第Ⅳ (レギュラーコース中級)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

19 世紀の童話を読む
春学期・秋学期：水 4

大谷 美奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ヴィルヘルム・ハウフが書いた19世紀の枠物語『メルヒェン年鑑 1826—隊商』内の「幽霊船の物語」と「ファトメを救出」がテキストです。ドイツでもよく読まれている物語を訳読して、初級時に習得したドイツ語を確認して定着させ、さらに高度な表現力を身に付けていくことを目標とします。テキストは旧正書法で書かれていますが、辞書で検索可能です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末テストの結果：50%

平常点（出席状況、課題提出状況および授業態度）：50%

テキスト(教科書):

Wilhelm Hauff: Märchen-Almanach auf das Jahr 1826. (CreateSpace Independent Publishing Plattform) ISBN:978-1482557596

参考書:

辞書を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

関心を持って読んでください。

予習をして授業に臨んでください。

質問・相談:

授業後に受け付けます。

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

ドイツ語で文章を書いてみましょう
春学期・秋学期：月 4

岡本 和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の基礎文法を復習しながら、読解、作文の練習をしていきます。余力があればディベートなども。最初の授業でクラス全体のレベル・チェックを行い、内容の難易度を決めます。授業計画は若干変わっていくかもしれません。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点、

テキスト(教科書):

『スタート！2～コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』、藤原三枝子、本河裕子、野村幸宏、Carsten Waychert 著、三修社2019年 ISBN: 978-4-384-13096-6C1084

参考書:

独和辞書、和独辞書（出版社はどこでも可）

担当教員から履修者へのコメント:

ドイツ語の語彙を増やしながら、様々な場面を想定しながら文章を書く練習をしていきます。授業のベースになる作文の宿題は必ずやってきてください。

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

ドイツ文学に親しむ
春学期・秋学期：月 5

川口 眞理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

様々な近・現代ドイツ語圏文学を抜粋で読みます（グリム童話、ゲーテ、リルケ、カフカ、マン、シュリンクなど）。精読のスキルに基づく読解力を身に付けるとともに、多彩なドイツ文学に触れ、作品・作家・時代背景への関心を育みます。一部の作品では原作の映画化も鑑賞します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点（予習の質 授業態度 提出課題）：30% 期末試験：70%

遅刻は3回で欠席1回と見做し、3分の2以上の出席が期末試験受験資格となります。

テキスト(教科書):

『ドイツ語を読む 改訂版』Susanne Schermann / 相原剣著 朝日出版社 2019年

ISBN:978-4-255-25417-3

参考書:

授業中に指示

質問・相談:

授業前後に随時受け付けます。

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

動画で学ぶドイツ語圏の地域事情
春学期・秋学期：金 1

木村 裕一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では「Das Deutschlandlabor」(Deutsche Welle) という動画教材を使い、ドイツ語を聞く・読むといったインプット能力を集中的に訓練するとともに、ドイツの文化や社会、習慣などに関する知識を広げることが目標とします。

初級文法をすでにきちんと把握・理解出来ていることを前提として進める予定です。

下部の「テキスト(教科書)」に記載のURLから、扱う動画やテキストを閲覧できますので(ただしドイツ語サイト)、難易度などを事前に確認した上で、授業を履修するかどうか検討することをおすすめします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

・各Lektionごと的小テストや授業中の課題、平常点なども含めて、総合的に評価します。

(小テストでは動画を見ながら、書き取り・聞き取り問題を解いてもらいます)

・全授業回数の1/3以上欠席した学生は、理由にかかわらず評価の対象としません。

・10分以上の遅刻は、理由にかかわらず3回で1回分の欠席とみなします。

テキスト(教科書):

Das Deutschlandlabor (Deutsche Welle):

<http://www.dw.com/de/deutsch-lernen/das-deutschlandlabor/s-32379>

担当教員から履修者へのコメント:

・予習：各回、講読する範囲を指定するので、その箇所を読んでること(30分~1時間程度)。

・復習：各Lektionごと的小テストに対応できるよう、テキストおよび動画内容を確認すること(30分~1時間程度)。

・フィードバック：小テストは採点后に返却します。

・その他：ドイツ語辞書は必ず持参すること。その他の教材に関しては授業時に指示します。

質問・相談:

質問・相談は、授業前後及びメールにて受け付けます。

連絡先については授業時にお知らせします。

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

レオポルト・ザッハー・マゾッホの小説を読む
春学期・秋学期：木 4

許 光俊

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

マゾヒズムの語源となった19世紀オーストリア作家マゾッホの特徴がよく表れた小説を読む。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点。

小テストなど。

テキスト(教科書):

コピーを配る

担当教員から履修者へのコメント:

毎回必ず辞書を持ってくること。

ドイツ語第IV 1単位(春学期)**ドイツ語第IV 1単位(秋学期)**

Deutschland und die Welt aktuell
春学期・秋学期：金2

シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Der Kurs wendet sich an fortgeschrittene Studenten, die entweder einige Jahre in deutschsprachigen Ländern gelebt haben und dort auch zur Schule gegangen sind oder Deutsch schon längere Zeit gelernt haben, z.B. an der Oberschule oder im Selbststudium.

Wir lesen im Unterricht Originaltexte zu politischen, juristischen und gesellschaftlichen Themen und versuchen dabei nicht nur den Inhalt zu erfassen, sondern auch den sprachlichen Ausdruck wesentlich zu erweitern und zu verbessern. Da dies nicht ohne Arbeit möglich ist, wird den Studenten dringend empfohlen, den Unterricht nachzuarbeiten.

Besonderes Gewicht wird auch auf den schriftlichen Ausdruck gelegt. Es soll deshalb den Studenten Gelegenheit gegeben werden, schriftliche Arbeiten (Referate, Aufsätze usw.) anzufertigen.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Die Benotung orientiert sich an Anwesenheit, mündlichen Beiträgen zum Unterricht und nach den Ergebnissen der schriftlichen Arbeiten und der Präsentationen.

テキスト(教科書):

Das Unterrichtsmaterial wird von der Kursleiterin gestellt.

ドイツ語第IV 1単位(春学期)**ドイツ語第IV 1単位(秋学期)**

Deutsch hören und sprechen - 聞くドイツ語, 話すドイツ語
春学期・秋学期：金5

シュミット, ウーテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語を今までより聞き取れるように、よりスムーズに話せるように、つまりコミュニケーション能力を養成することをこの授業の目標とします。日常生活のさまざまな場面を想定し、実践的なパートナートレーニングを通じて自分の日常生活を描写したり、自分の考えや感情を表現したりする練習を重ねます。語彙習得のほかに基礎文法の復習もします。ドイツ語第IIIよりは文法と語彙がより難しいので、基礎ドイツ語に自信のある学生は是非挑戦してください。

ドイツ語圏の事情や習慣などを含むテキストを利用し、ドイツ語圏の国々をより知ることもできます。DVDやインターネットなどを用いて、ドイツの文化に触れる機会を多く設けるようにしたいと思っています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(提出する宿題、プレゼンテーション、十分な予習復習のうえで出席、アクティブに授業参加)で総合的に評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリント配布

担当教員から履修者へのコメント:

授業の積極的な参加を重視します。失敗を恐れずに積極的に発言してください。

出席が評価のための不可欠の前提です。4回以上の特別な事情のない欠席は認めません。

質問・相談:

授業終了後に、またはメールで (uschmidt@keio.jp)

ドイツ語第IV 1単位(春学期)**ドイツ語第IV 1単位(秋学期)**

ドイツ語を読む力と書く力を身につける
春学期・秋学期：火5

滝藤 早苗

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語の初級文法を一通り学習し終えた学生を対象としています。毎回、授業時間を前半と後半に分けてテキストの精読と作文の練習を行ない、ドイツ語を読む力と書く力、そして語彙力を身につけます。使用するテキストはドイツ語圏の国々の文化や社会に関する内容ですが、2020年はベートーヴェンの生誕250周年で

もありますので、秋学期にはこの音楽家に関連するものを中心に読んでいきます。交響曲第9番の声楽部分における歌詞(原詩はシラーの『歓喜に寄す』)の解釈にもチャレンジし、詩の韻律や修辭法などについても学びます。必要に応じて、CDやDVDなどの補助教材も使用する予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況や授業態度(毎回予習を必要とします)、試験(期末試験・小テストなど)の結果により評価します。

テキスト(教科書):

Ute Schmidt・Mechthild Duppel-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人『CD付き フェアストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ』(三修社、2016年、ISBN:978-4-384-13095-9 C1084)

補足テキストや作文練習の課題は授業中に配布します。

参考書:

辞書は毎回の授業に必ず持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

初回には授業の方針などについて詳しく説明しますので、必ず出席してください。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

ドイツ語第IV 1単位(春学期)**ドイツ語第IV 1単位(秋学期)**

ヨーロッパ「近代」を読み解く②

—— 蒐集の思想

春学期・秋学期：火4

馬場 浩平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は「コレクション」に関するテキストの精読である。15世紀から20世紀初頭に至るヨーロッパ文化において、古今東西の知識や博物を蒐集することは、個人的な趣味などでは決してなく、グーテンベルク(1398年頃-1468)の活版印刷術に端を発した印刷文化や大航海時代、さらに植民地主義に相俟って普及した国家プロジェクトでもあった。16世紀から18世紀前半にわたって「ヴンダーカマー」(驚異の小部屋)と呼ばれる小宇宙空間が王侯貴族の珍品蒐集のために存在していたが、その後、特に18世紀後半から19世紀前半になると、「美しい芸術作品」だけを蒐集した「公共美術館」が生まれ、「ヴンダーカマー」は廃れていく。このことは「近代」を特徴づけている歴史的現象であるといえる。本授業では、20世紀におけるドイツの思想家ボリス・グロイス(Boris Groys, 1947-)のLogik der Sammlungを講読し、近代における「公共美術館」の知られざる側面について受講者とともに考えていく予定である。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席(5回以上の無断欠席は不可)、授業態度(スマホ禁止)、毎回の予習、授業中の発言、最後の期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

Boris Groys: Logik der Sammlung. München: Carl Hanser

初回に、講読テキストを配布します。

参考書:

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント:

基本的にはドイツ語テキストの講読ですので、時間をかけてじっくり精読していく予定です。グロイスの文体に慣れるまで時間がかかりますが、「泥臭く地道に」辞書をひきながら一つ一つじっくり深く理解していきましょう。そのため、『クラウン独和辞典』(三省堂)や『独和大辞典』(小学館)など、中級以上の辞書を必ず持参してください。

質問・相談:

また、受講者のレベルに合わせて授業の進度、ならびに内容を柔軟に変えていきます。

ドイツ語第Ⅳ 1 単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

ドイツ・リート、オペラを読む

春学期・秋学期：火3

吉田 真

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代の日本で、一般に生のドイツ語に触れる機会が一番多いのは音楽の世界ではないでしょうか。少なくとも東京ではドイツ・リート(歌曲)の演奏会やドイツ・オペラの上演が頻繁に行われていますし、ベートーヴェンの第9交響曲にいたっては、日本の年末の風物詩になって久しいと言えます。そのようなドイツ音楽のファンの中には、大学でドイツ語を学んだ経験のある人も多いと思われそうですが、歌曲になっているゲーテやシラーの詩、あるいはワーグナーやホフマンスタールによるオペラ台本などは、ドイツ語の初級レベルの知識だけでは、なかなか読みこなせるものではありません。

この授業では、ドイツ語の詩の読み方の基礎(韻律や修辭法なども含めて)を解説し、音楽作品として有名な歌曲や合唱曲の詩、オペラ台本などを理解できるようにします。詩を読みながら、作者である詩人や作品の生まれた時代背景についても学びますが、一番の目標はドイツ語の「音」を通じて、そこに込められた「意味」を理解することです。もちろんCDやDVDによる作品鑑賞の時間も設けます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・平常点: 出席状況および授業参加による評価(毎回の予習が必須)
- ・試験の結果による評価(語学的内容の授業内試験を行いません)

テキスト(教科書):

教科書は指定しません。プリントを配布します。

参考書:

- ・『ドイツ・リート名詩百選』佐々木庸一著 音楽之友社 1980年(絶版)
- ・『ドイツの詩と音楽』荒井秀直著 音楽之友社 1992年(絶版)
- ・『スタンダード・オペラ鑑賞ブック ドイツオペラ 上』音楽之友社 1998年
- ・『スタンダード・オペラ鑑賞ブック ドイツオペラ 下』音楽之友社 1999年

その他、適宜授業で紹介します。

個々のオペラ台本では、音楽之友社の「オペラ対訳ライブラリー」シリーズがあります。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・音楽だけでなく、ドイツ語の原詩への関心がある学生の参加を期待します。内容への興味があれば、予備知識は一切問いません。
- ・取り上げる作品はCDなどで対訳が入手できるものがほとんどですが、既訳には間違いがあることも多く、解釈の多様性もありますから、それらはあくまで参考資料と考えてください。
- ・特に作品鑑賞時の私語・居眠り等は他の履修者たちの迷惑になりますので厳禁とします。

質問・相談:

授業の前後の休み時間に独立館教員室で受け付けます。